



国土交通省道路局長殿

平成19年4月16日

京都府南山城村
村長 橋本洋一



中期計画作成に当たっての意見

平素は道路整備等につきまして一方ならぬご理解とご支援を賜りまことに有り難うございます。

おかげさまで、徐々にではありますが道路環境の改善が図られつつあります。しかしながら、わが村における国道、村道につきましては高速道路や主要幹線道路とは違って整備推進が遅れている現状があり、改善を求める住民の声が高まっております。

つきましては、私の思いを次のようにまとめましたので、ご勘案戴き実現していただきますようお願い申し上げます。

記

1 重点化における政策の優先度について

七つの重点策については、いずれも大切に勘案実施していただきたいと考えますが、まず最も優先されるべきは住民・利用者の安全・安心の確保策であると思います。交通事故の大多数は、生活道路の改修未整備に起因しているのではないのでしょうか。

私の村を通過する国道163号は、京阪神地区と中京地区を結ぶ産業道路的存在で、一日の通過車両は12,000台を越えるうえに、大型トラック混入率が30%を超えています。さらに木津川と急峻な山とに挟まれた地形を通過する道路の故に拡幅が困難で、狭規格のまま放置され、歩道未設置区間も多くあります。このため交通事故が多発し、昨年度は約20kmの区間で7件の死亡事故が発生したばかりか、接触事故など小規模の事故は日常茶飯事になっています。このために救急自動車や消防車の出動回数も増え、財政を圧迫しています。

幸い私の村では、2006年度より、バイパス化の事業に着手

いただき村民あげて喜んでいますが、他町には未改修狭隘区間が少なからずあります。国道163号から事故を無くし、安全安心な環境をつくと同時に全国と同じ環境にある道路整備こそ最優先させるべきと考えます。

次に地球温暖化阻止、沿道環境保全等の生活環境の創造、既存ストックの寿命延長などを優先するべきと思います。

2 効率化を進める上での留意点について

- ① あまりにも高い高速道路料金の引き下げは必至と考えるが、ドライバーのETCへの加入促進とETC施設の整備促進を徹底して図り人件費の大幅な削減を進めるべきだと考えます。
- ② 既存道路ストックの高齢化に対しては、安易な全面改修でなく、調査や管理を徹底し、長寿命化を図ることにより経費削減に努めるべき。また自治体管理施設に対しても指導と支援をお願いしたい。

3 道路特定財源の一般財源化がいわれていますが、まだ日本には真に必要な道路整備箇所が多数残っています。

高速道路網の整備も国家的、また産業政策的に必要性があるかもしれませんが住民生活にとって必要な道路整備こそ重視されるべきだと考えます。

こうしたことから道路特定財源は今しばらく確保し、真に必要な整備事業に活用するべきであると思います。

政府の方針もありますが当面、特定道路財源の制度維持を強く求めるものです。

国土交通省の強いリーダーシップとご尽力を切望致します。

以上